

# 令和4年度事業計画書

## 1 東三河スタートアップ推進協議会の目的

東三河地域において、スタートアップ支援に係る様々な活動を行っている企業、大学、行政機関等により構成される東三河スタートアップ推進協議会は、地域発のスタートアップの創出と、地域に適したスタートアップ・エコシステムの形成を目的とする。

## 2 令和4年度の目標

東三河スタートアップ推進協議会発足後、支援拠点を中心に議論を重ねる中で、地域のスタートアップ・エコシステムの構築上の課題が可視化されてきている。そこで、本年度の目標を次のように定める。

- (1) 東三河地域のスタートアップ・エコシステムの拡充
- (2) スタートアップ起業家へリソースや資金の提供ができる共創型のコミュニティづくり
- (3) 各支援機関が実施する事業との連携（共催、後援など）

## 3 令和4年度の運営体制

上記目標を達成するため、地域の様々なステークホルダーと連携するとともに、推進協議会会員のリソースや東三河地域の持つ強みを活かして、広域で起業家を発掘・育成・誘引すべく、協議会の下に、事業管理者及び実務担当で構成される「運営部会（仮）」を設置する。また、運営部会の下には、昨年度から実施している実務担当者等による6つのプロジェクトを設置し、各事業を推進する。

### (1) 「運営部会（仮）」の設置

6つのプロジェクトの推進及び進捗確認、承認等

<構成員>

事業管理者・・・各会員組織の上層部と実務担当者を繋ぐために重要な役割を担っている管理職など

実務担当者・・・各会員組織の実務を担当する者

### ■プロジェクト

- ①Higashi Mikawa UPPERSコミュニティ戦略
- ②8市町村広域実証実験サポート
- ③エンジェルコミュニティ

- ④スタートアップ・エコシステムスタディ（勉強交流会）
- ⑤大学連携
- ⑥共創促進、情報可視化、共有スキーム構築

## 4 令和4年度の主な取り組み

### (1) 運営部会（仮）の設置及びプロジェクトの実施

#### ■運営部会の設置（5拠点ミーティングからの発展）

スタートアップ・エコシステムの構築に向けて、東三河地域のスタートアップ・創業支援機関、企業、大学などエコシステムのステークホルダーとの連携を図り、起業家・新規事業の成長を加速させる。

<具体的な内容>

- ・全体会議（月1回程度）
- ・ミーティングの実施（週1回程度）

#### ■プロジェクトの実施

##### ① 起業家コミュニティ「Higashi Mikawa UPPERS」の運営

ビジネスモデルの構築に取り組む起業家や、起業体験イベント・勉強会等の企画者の活動を促進し、東三河地域の起業文化の醸成を図るため、エリア内外の多様な人材が応援者として参画する3か月サイクルのプロジェクトを推進する。この活動により、当エリアにおける起業チャレンジのハードルを下げるとともに、実践的な起業体験機会を広く提供する。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（週1回～隔週に1回程度）
- ・各プロジェクトの活動の促進
- ・活動発表・交流会（ミートアップ）の開催（年3回程度）

##### ② 8市町村横断での連携体制の強化（東三河地域広域での起業・新規事業支援）

東三河地域にスタートアップ・エコシステムを構築することが各市町村の企業・起業家・ひいては市町村民にとってもプラスになることを鑑み、8市町村の行政、経済団体、支援機関、企業等が連携する体制を強化する。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（週1回～隔週に1回程度）
- ・勉強会の実施（月1回程度）

### ③ 起業家支援エコシステムの形成(共創エンジェルコミュニティ)

アイデア段階など初期フェーズの起業家や企業内起業家、事業承継を契機として新しい取り組みを行う企業等が資金やリソースを調達できる仕組みを構築するため、地域内外の様々な人・リソースをつなげることにより、スタートアップが生まれ育つのに必要な支援を、起業家に迅速に届けられる共創型のコミュニティの形成を目指す。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（週1回～隔週に1回程度）
- ・ミートアップ / デモデイの開催（年数回程度）
- ・他地域の支援機関・VC等との連携
- ・エンジェル投資家の創出
- ・エンジェル投資家を持続的に産み出す仕組みの設計と共創活動の実施
- ・革新的・創造的な創業や経営を行い、事業を成功させている地元起業家を表彰するイベントの検討
- ・事業創造に向けたメンター制度の仕組みを検討

### ④ スタートアップ・エコシステムスタディ(勉強交流会)の開催

スタートアップ・エコシステムの構築に必要な知識の習得と人材が交流する場として、様々な支援機関・企業・起業家まで横断的に参加可能な勉強交流会を開催する。

<具体的な内容>

- ・ミーティングの実施（必要に応じて随時開催）
- ・スタートアップ・エコシステムスタディの開催（月1回程度）

### ⑤ 大学連携

(株)サイエンス・クリエイトが展開する研究シーズスタートアップ支援事業、イノベーション創出等支援事業とも連携し、大学発スタートアップや地域企業における新事業の創出に向けた活動を実施する。

- ・ミーティングの実施（隔週に1回程度）

### ⑥ 共創促進および情報発信連携(共創・可視化)

支援機関間等による共創事例の創出や、起業家（社内企業家含む）ファーストな支援機関連携のための情報共有を計画する。また、SNSなどの発信ツールを用い地域内外に推進協議会の取り組みを発信していく。

- ・ミーティングの実施（週1回～隔週に1回程度）

## (2) 推進協議会会員が実施する事業との連携

emCAMPUS、CLUE、StartupGarageなどの支援機関や、豊橋市及び愛知県などの行政機関、その他会員が実施する事業と連携（共催又は後援）し、団体間を越え地域が一体となった活動を展開する。